

# あかね



令和5年12月15日(金)発行  
薩摩川内市立川内北中学校

自主 友愛 奉仕 鍛錬

文責：校長 感王寺 等

## 感謝と決意

今月2日(土)の早朝より、川内建築四団体連絡協議会様による企業ボランティアが実施されました。同協議会の加盟団体である建設事務所協会、健友会、健友会賛助会、電設協会、設備協会に所属される各社より、計122名もの方々が参加くださいました。作業開始前の駐車や整列の様子から、日頃から事故防止に努められ、安全管理がしっかりなされていることを感じました。また、分担した作業においても、それぞれの専門的な技術が見られ、感動しました。



### 【ボランティアによる作業内容】

- ・ 野球のマウンドと1塁ベースの改修
- ・ ソフトボールの全ベースの移設
- ・ 中校舎階段手すりの補修・塗装
- ・ 中校舎と渡り廊下雨どいの修理
- ・ トイレスリッパ入れの木枠の交換
- ・ 樹木の剪定、花壇の除草作業
- ・ 側溝の清掃、運動場周辺の落ち葉の清掃など

翌週の月曜日、登校した生徒の何人が気付いたか気になるところですが、新生徒会の役員がすぐにお礼状発送に取り組んでくれましたので、ほとんどの生徒が気付いたものと思います。企業ボランティア並びに市担当局の皆様へ感謝いたしますとともに、整った環境を生徒や職員の力により維持管理しなければと考えています。誠にありがとうございました。

## 地域に学ぶ・地域で育つ

11月23日(木)勤労感謝の祝日の早朝より、恒例となった新田神社と可愛山陵の清掃ボランティアが実施され、本校からも生徒会や部活動の有志生徒、職員の40名が参加しました。地域の方々とともに、山頂から下に階段や側溝の落ち葉や泥など手際よく掃除しました。ボランティア作業終了後は亀山コミセンに移動し、玉ねぎの植え付けや山芋の収穫を行い、活動後は恒例のからいもご飯とトン汁をいただきました。

かまどで炊いたご飯をほお張る生徒たちの表情は、すがすがしいものでした。



今月3日(日)には、亀山コミセン主催の「収穫祭」が開催され、本校から生徒会や部活動生27名が参加し、かまどで蒸した大量のもち米を石臼と杵で餅つき

しました。初めての体験に最初は戸惑う生徒たちでしたが、地域の先輩方にコツを教えてもらい、次第に要領を得ていきました。お昼には温かいトン汁をいただき、帰りには土産にお餅やお菓子、学用品までいただきました。地域の方々との交流し、学ぶこともあったかと思えます。貴重な機会を提供くださり、ありがとうございました。



## 芸術の秋

11月29日(水)、テレビやYouTubeで大活躍のみやけんさん(トロンボーン演奏者兼ピアニスト)をお招きし、芸術鑑賞教室を実施しました。昨年までは全校生徒で芸術鑑賞教室を実施することができず、2、3年生にとっても中学校では初めての行事となります。当日は、みやけんさんの高校の後輩でもある宇都先生とのセッションもあり、大変盛り上がりました。みやけんさんも汗をかきながら、14曲も演奏してください、芸術の秋を堪能した1日となりました。



自力で登校、歩育を推進しましょう。

## 人権週間にて

12/10～16の「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」に合わせ、先週の6日(水)の昼休みに、体育館でアニメ「めぐみ」の上映会を実施しました。希望者の参加としましたが、1年生から3年生まで146名が鑑賞し、拉致被害者家族の心情を理解してくれたものと思います。関係者の高齢化が進む中、拉致という人権侵害があった事実、そして、未だに解決できずに苦しんでいる方々がいらっしやることを忘れず、1日も早く帰って来られることを願います。



### 学校保健委員会・1, 2年PTA

先週の7日(木)、第2回学校保健委員会と1, 2年の2学期末PTAを実施しました。学校保健委員会では、北薩児童家庭支援センターの盛田桃美臨床心理士を講師にお招きし、「思春期の子供たち～関わりと対応について～」の演題で講話をいただき、思春期の子供たちへの関わり方のヒントをいただけたのではないかと思います。学期末PTAで連絡しました冬休みの心得やインターネット等の関わり方など、家庭内でも子どもと共有化していただき、有意義な冬休みを迎えていただきたいと思います。



### 鹿児島県初のゴールド

新聞やテレビでも紹介されましたが、11月19日(日)に大阪城ホールで開催された全日本マーチングコンテストにおいて、本校吹奏楽部が鹿児島県初となる金賞に輝きました。2回目の挑戦での快挙に、地域の皆様からもたくさんの喜びの声が寄せられました。ご支援いただいた方々に深く感謝いたします。



## 悪ふざけのつもりが

① Pさん Qくん Rくんの3人は、学校の帰りに制服のまま線路に立ち入り、大はしゃぎで写真を撮影。仲間に見せようと、SNSにアップしました。



② あっという間に特定されて学校名や名前が晒され、警察に通報が。鉄道営業法違反等の罪で家裁に送致され、学校には抗議の電話やメッセージが…。

悪ふざけなどの不適切な投稿が後を絶ちません。身内だけに見せるつもりでも、拡散され大炎上することもあります。度を越した悪ふざけや悪意の投稿は、どうしたらなくなるでしょう？

A やらうという子がいたら

ルール・モラル違反は厳禁です。この場合、線路は感電死する恐れもあって危険だし、「内輪しか見ない」という考えも甘い。誘いにはのらず、ダメなものはダメ！と注意して止めましょう。

B 投稿を見つけたら

まずは自分が拡散しないことです。そして、ネットで広まれば取り返しがつかない大ごとになると気づかせ、公開・非公開を問わず削除させましょう。反省を促し再発を防ぐことも大切です。

C 写真や動画以外の投稿でも…

誰かになりすましたり、ウソやフェイク情報を書き込んだりすることも不適切な投稿です。自ら投稿するのがダメなのはもちろん、面白がって騒いだり拡散したりするのも絶対にやめましょう。

不適切な投稿を探し、拡散させて楽しむ人がいる現実があります。落ち着いて考えれば、やっていいことかどうか判断がつく年齢になっても、そのときのノリや勢いで撮影し、公開してしまうケースが後を絶ちません。アルバイト先で不衛生な動画をアップする若者の行為から、「バイトテロ」という言葉が誕生したほどですが、それらはいずれも「そもそもやってはいけないこと」のはずです。写真や動画だけでなく、なりすまし投稿や、フェイク情報の書き込みなども同じです。それらを探し出し、拡散させて晒し者にして楽しむ人もいます。ネットで広まればあっという間に個人が特定され、罪に問われたり損害賠償請求をされたりすることもあります。いたずら半分でしたことの代償は、恐ろしく大きいのです。ネットに拡散した情報は、簡単に消せません。「デジタルタトゥー」と称されるほど、ネットに刻まれた情報は半永久的に残ります。未来の自分を苦しめることのないよう、正しい利用を！



(参考：総務省インターネットトラブル事例集より)

2 学期の締めくくりにしっかりと。